

平成23年度 市政懇談会(北有馬地区)会議録

- 期 日 : 平成23年7月29日(金)19時35分～21時20分  
 □ 場 所 : 北有馬ピロティー文化センター日野江  
 □ 出席者数 : 21人

質疑内容	回答	回答者
①今年、6月の大雨により、町道から雨水が旧道に流れ、旧道の路肩が崩れてしまっています。その下に10aくらいの土地があり、その下に水路が通っています。建設課の職員に話をし、「周囲が荒れているので災害になりません」と回答がありました。周囲が荒れているために、災害にならないのですか。町道の内側に擁壁を作ってもらえばいいと思いませんか。	①現場を確認します。 【後日回答】 ②溜め池の件は、建設課と農村整備課の両方で現場を見させていただきます。 【後日回答】	建設部長
②大平溜め池というのが18年に建設されました。約40年前に災害があり、泥が堤にくだってきています。水溜まりの水が1/3くらいになっています。あれだけの川に、工事した後の土石流が全部堤に溜まってきています。溜め池のかしらを何のために測量しているのか、お尋ねします。	【後日回答 対応済】 ①8月2日午前9:30より現地において質疑者、建設課職員と立会を行った。里道の災害については、幅員は2m程あるが災害現場より先は竹が生い茂っており、利用実態が全くない。また、これより先の農地は耕作放棄地となっており、災害として申請できない旨を説明。(質疑者)昔からの道なので何とかしてもらいたい。この災害は市道からの雨水が原因なので、市道の排水処理を実施する方向で建設課が対応する。 ②大平ため池への堆積物は、普通河川より直接流れ込む形状になっているので河川からの流入物である。このすぐ近くに建設課の公共災害があるので、災害復旧工事の際、機械のとどく範囲で堆積物の除去を行う方向で建設課で検討する。	農村整備課
	上記のとおり立会し終了した。 ①について、市道の修繕にて対応する。 ②について、土砂除去は災害工事にあわせて実施する。	建設課
道路の整備について、一言言ってほしかった。ふれあい交流広場から石を投げる人がいます。	ふれあい交流広場入り口については、もう一回再確認させてください。ふれあい交流広場から石を投げているということですので、教育委員会と現場を確認します。日を改めて、関係書類を見せてください。 【後日回答】	永門副市長
	【後日回答】 永門副市長対応中。	永門副市長
合併時に、水道料金を5年以内に調整するとなっていました。今年の議会で否決され、後5年間で調整するとなりました。北有馬から加津佐まで、地区より10年間でわすかですが、高い料金を払うようになります。市民は平等であるべきです。議会で否決をしたら、もう一回上程すべきです。	①水道料金については、早い時期に調整していくとなっていた。前市長時に、検討委員会の結果で、料金調整が図られるようになりました。旧各町の代表者が委員となり、考え方を尊重し上程しました。その内容は、否決ではなく、修正案で可決をもらっています。深江から加津佐まで8力町の差は、2.数倍あるところもありました。その差を縮めるためには、それなりの時間を掛けて調整をし、お願いするようになっています。 ②合併協議会の協定内容の水道使用料については、5年以内に調整するようになっていました。22年度が5年目で、5年目に調整しました。合併当初は、水道管理の管理運営については管理の仕方がまちまちでしたので、旧各町見直しを行いました。初年度、19年度、20年度に一定の効果があり、20年度の決算を21年度に見まして、料金審議会の機関を設け、委員に協議してもらい、答申してもらいました。答申を受け、市は内容を吟味し、急激に上昇する町については、3年間(緩和期間)の傾斜で行い、安くなる町については23年度からの案でした。昨年9月議会で、修正案がでて、上がる方も下がる方も5年間の緩和期間を設けべきだと、修正案が可決されました。	①市長 ②水道部長
ゴミ袋と国保は料金が下がりました。水道料金の上がる方は徐々に3年から、5年かけていいです。下がる方は一気に下げる調整はできないのですか。	議案は昨年度可決し、今年4月から実施。各地区の説明会、市民に周知等が済み、やっと施行がはじまったばかりです。中身は議会で十分審議した経緯があります。また、下がる方を一気にとは、なかなか難しいと考えます。 特別会計ですので、料金に跳ね返ってくる体系になります。両方からお互いに歩み寄ってもらうようにしています。	市長

質疑内容	回答	回答者
<p>最近、島原市で副市長を一人制にする聞きまし た。本市でも、財源が厳しいと言っている中、二人 制です。一人減らしたら、任期4年間で4000万～ 5000万円の人件費が浮くわけです。</p>	<p>島原市は、7月議会で一人制にしました。島原市長の考 え方です。島原は吸収合併(島原市と有明町)です。私の 感覚では、南島原市と島原市の差は、合併した自治体 数、吸収合併や対等合併かです。本市は対等で均等あ る市の発展を目指さなければいけません。職員も620数 人から、合併の目的の行革を行う必要があります。大き な目的は、国の財政がどうにもならず、合併すれば町長8 人から市長1人でいいわけです。本市は職員もどんど 減らさなければならない。永門副市長は、役場出身です。 地元のことをよく知っています。特に地元の人たちと更に 強い繋がりを深めてほしいとの思いで就任してもらいま した。高田副市長は全国公募で募集をしました。行政も経 営的な考えが必要で、全国から253人の応募がありまし た。選考委員会(民間も含め)を設置し、選任されたのが 高田副市長です。ハウステンボス、オランダ村と創業に 大きく関わってきた人です。歴史文化に、素晴らしい考え を持っており、既にいろいろな面で活躍してもらっていま す。南島原市の副市長の2人制は、必要だと思っていま す。</p>	<p>市長</p>
<p>今年、市の補助金を活用し、自治会内に7台設置 しました。今、節電でLEDが脚光を浴びています。明 るさは蛍光灯が20wで、LEDが8wで、電気料が安 く、球替えが少なく、蛍光灯より明るいように感じて います。自治会の皆さん喜んでます。近隣の自治 会も設置したいという意見があるので、来年は予算 を大きくとってもらい、要望があれば補正をお願いし ます。</p>	<p>今年の予算は96万円です。既に要望でいっぱいにな り、今からの分の予算がありません。補正の検討をしま す。</p>	<p>総務部長</p>
<p>有料道路矢上大橋往復200円掛かります。島原半 島の人が多く通ると思っています。できれば、無料にし ていただきたい。</p>	<p>私も仕事でよく通ります。内部で検討し、お願いしてい きます。(矢上大橋の道路管理者は県道路公社。)</p>	<p>市長</p>
<p>西有家町時代には、自治会長の名前が公表され ていました。市になって自治会長の名前は公表でき ないようになっています。情報公開の請求をし、コ ピー1枚20円掛かります。連合自治会長の名前を 公表できるのか、お尋ねします(市で16名が選ばれ る)。</p>	<p>①自治会長、特別の公務員として公表できるとしており ました。 ②連合組織創設の検討委員会の名簿の件は、8月3日に 第1回目の会議を開きます。委員は各町2人ずつ、公表し ないということでもありません。会議は公開をしています が、名前の公表となると、市民で知りたい人もいるし、知 られたことによる委員への発言への影響も視野に入れな ければいけません。発言、検討に対する制約があれば考 えていかなければいけません。公開してほしい場合は、 公開の申請をしてもらい、どういうものに使いますかと用 途を判断し、公開している状況です。</p>	<p>①市長 ②企画振興部長</p>
<p>水道料金を決めるのに、委員を公募し、委員会を 開いて決める。高い料金の南有馬、加津佐から水 道について質問をもらっていたので、傍聴に行きま しょうと言っていました。水道課長に委員会の開か れる日時を教えてくださいと言っていたが、委員会は 非公開でした。議会の修正がありました。住民の 代表、委員会がどのようにして決定されたのか、疑 問があり、委員会の検討の中身の報告がござい ませんでした。どういう意見でそういう結果になっ たのか。委員はどこ地区が多かったのか。いろいろ 条件で料金が高くなる、偏った結果になります。審 査内容が議会にも話すことができなく、困りました。今 まで安かったところは徐々に上げていく。 自治会長の名前を聞かれた場合は、私は教えま す。連合自治会長の名前はお知らせできるので かと、市長の考えを聞きたい。市長に期待してい るので、自分の考えを通していただきたい。自治会長 の名前を公表できるのですか。</p>	<p>自治会長の公表問題は、法的には問題ありません。地 方公務員法第3条第3項第3号で、依頼状を渡してお願い しています。実務として、自治会長に問題を与えるよう であればいい方がいいこととなります。旧町時代には町 報で自治会名、自治会長名の公表をしていましたが、こ ういう社会になり、悪用し商品が勝手に自治会長宅に送 ってくるケースもあります。</p>	<p>市長</p>

質疑内容	回答	回答者
<p>教員40年終わり、食生活改善グループの会長をしました。最初、十数名でスタートし、多い時で七十数名、現在四十数名で活動しています。全国組織で、ご婦人が、家庭の料理から給食の栄養面をバランスよくしようと意気込んでいます。その中で、60歳くらいの独居老人に対して、北有馬で70～80食作っていました。会員が少なく十数名で作っていました。参加すると家の料理や、栄養面や健康面にも発展しており、いい仕事を始めたと認識しています。同活動は年に2～3回でしたが、現在、毎月やっています。北有馬は全国表彰も受けました。日本中が食についての理解が非常に深くなっています。ご飯を主にした食事は大変栄養面でも体づくりでも重要です。おかずの品がたくさんあり、歴史の文化が詰まっています。</p> <p>北有馬は5つあった小学校が一つになっています。私の力では最高25人までなら、徹底して指導していました。教育の面白さは、子供の持っている素質をどうやって見つけ出すかが先生の喜びです。市が一つになったわけですが、本当に一人ひとりの子供のいいところを見つけて、一ミリでもいいので伸ばしてほしい。</p>	<p>①退職後、食改等々で活躍されており、お世話になりました。</p> <p>②いいお話をしてもらいました。食育のことに熱心に取り組んでこられた。「いただきます」という言葉は、日本独特の言葉です。他の国にはありません。何でいただきますかという、全ての物に感謝しながら、あなたの命を頂きますと、豚、魚、野菜、手を合わせて食事をすると子供たちにも教えたい。</p> <p>ほんの少しでもいいから子供達のいい点を見つけどんどん伸ばしていく学校教育と併せて、新しい命が芽生えたときから、最後のときまで、この土地に生まれ育って良かったという人生を過ごしてほしい。生涯学習教育を推進していきます。</p>	<p>①市長 ②教育長</p>
<p>市長のあいさつの中で、南島原市には働く場所がない、少子高齢化に向かっていると話されました。歴史のまち特色を生かしていきたいとおっしゃっていましたが、正式に世界遺産に認定された場合、市としてビジョンをもっていらっしやるのかお聞きしたい。</p>	<p>①長崎の教会群とキリスト教関連遺産ということで、世界遺産登録に向け取り組んでいます。つい最近、平泉と小笠原が登録され、鎌倉と富士山が25年度の登録を目指していると新聞に掲載されています。ユネスコの方も900近くの登録があり、非常に厳しい状況です。長崎県と5市2町が一緒になり、登録を目指して努力していかなければなりません。登録されてもされなくても守って、後世に伝えていくことが、私たちの役目だと思っています。</p> <p>②日本初めてのセナリヨがこの地に建設され、天正遣欧少年使節などが学び、若者がヨーロッパに旅立っていった地です。世界史、日本史上に果たした役割は非常に大きく、その後の島原天草の乱まで繋がったところが世界遺産の目標になっています。世界遺産に関するものを引き継いで、市民運動を推進し、愛着と誇りを持ってもらい、世界人類の宝物になるよう世界遺産登録を目指しています。県で24年度に提出し、25年度にユネスコ審査、26年度登録を目指すというスケジュールで進めています。具体的には世界遺産登録に向けて、整える部会、もてなす部会、生かす部会、伝える部会の4つの部会をつくり、積極的に市民に入ってもらい市民総参加型の活動をしていこうと考えています。</p>	<p>①市長 ②教育長</p>
<p>島原半島が昨年ジオパークが第1号認定、来年国際大会がありますが、ジオパークの認定前後で変わった点はあるのですか。</p>	<p>①今月、ベトナムで開かれたアジアのジオパークの会議に出ました。日本でも北海道有珠山等、アジアのジオパークはへき地です。大都会にはジオパークは残っていません。ジオツーリズムをもとに、観光振興、地域の持続的な発展を目指しています。雲仙を中心とした島原半島は、火山による災害をもたらしますが、湧水、温泉、素晴らしい水の環境と、火山灰の蓄積によって農業が栄えてきました。山によって、海の幸もよくとれます。被害にあってもたくさんの人たちが集まって、長い歴史を刻んできました。ジオは母なる大地という意味です。長崎県内で農業の生産はナンバーワンです。ジオパークで何が変わったのが一番問題です。島原半島を一番最初に指名した訳ですが、来年、世界大会が島原半島で行われる割には効果が見えていません。日本のユネスコの委員ももっと市民の方に理解してもらい、来年の大会まではもっと情報を伝えてほしいと伺っています。ジオサイト、火山活動の跡が見えるのは市内何カ所もあり、バスツアー等が既に始まっています。ガイド育成も進んでいます。ほとんどの人が実感として、ジオパークとは何だろうと感じられていると思います。大地の恵みをベースにジオパークづくりを3市一緒にやって、島原半島そのものが独特の都会が真似できない観光地になっていくようにしていきたい。それぞれ、地元の人の発表があります。子供たちから見たこの大地の恵みは何なのか。農産物、肉牛、豚等の展示を機会に、豊かな島原半島を発表し、全国に知っていただくチャンスになります。来年は世界から集まってきます。</p> <p>②平成21年度から22年度の観光客数は、日帰り客数1.4倍伸びて約131万人、宿泊は92.7倍と下がっています。全体で0.7倍増です。(観光統計調査)観光が伸び悩む中、効果があっている状況です。観光ガイドの皆さんは勉強し、ジオのPRにも努めています。</p>	<p>①高田副市長 ②企画振興部長</p>